

委員会等会議録（調査・研究概要）

平成 31 年 4 月 17 日

箱根町議会議長 様

総務企画観光常任委員会委員長

箱根町委員会条例第 26 条に規定する会議概要等(会議録)を作成したので報告します。

会議名		総務企画観光常任委員会
開催日		平成 31 年 4 月 16 日（火）
時間		午前 10 時～午後 2 時 15 分
開催場所		芦ノ湖漁業協同組合、箱根関所、森のふれあい館
出席者	議会	山田成宣委員長、勝俣剛一副委員長、勝俣公好委員、小川鶴雄委員、川端祥介委員、稲葉親太郎委員（欠席：沖津弘幸委員）
	執行部	箱根関所 大和田館長、森のふれあい館 山内館長
	事務局	岩田事務局長、高梨書記、鴻田
	傍聴者	公開・非公開の別：公開 傍聴者：なし
視察項目		<ol style="list-style-type: none"> 1 芦ノ湖漁業協同組合 ワカサギ採卵、非常用発電機について 2 箱根関所 400 年祭に向けた観光面での取組み等 3 森のふれあい館 展示内容等の現状確認
概要		<ol style="list-style-type: none"> 1 芦ノ湖漁業協同組合 <ol style="list-style-type: none"> ①ワカサギ増殖 芦ノ湖では毎年 10 億粒以上のワカサギの採卵をし、そのうちの約 5 億粒は芦ノ湖以外の湖に種卵として販売しており、全国のワカサギの約 8 割を占めているとのことだった。定置網から獲ったワカサギを蛭川養魚場へ素早く運び、水槽内で自然産卵をさせる芦ノ湖独自の自然産卵法は、受精発眼率が 90%を超え、卵の質も良く、さらに親魚も湖に戻すことが可能となる等、たくさんのメリットがあるとのことだった。 ②非常用発電機 平成 30 年 9 月補正にて補助を行った非常用発電機は、ワカサギの飼育のほか、町が指定している災害時用水井戸の維持に必要不可欠であることから視察を行った。 2 箱根関所 箱根関所設置 400 年記念箱根関所まつりの取組みについて、所長より説明を受けた。5 月 26 日に箱根関所まつり大名行列がやってきたを始め、浮世絵風重

ねおしスタンプラリーや全国の関所の企画展、我が町の関所自慢シンポジウム、クロージングイベントとして2020年3月に太鼓と踊りの祭典を開催し、箱根関所設置400年を祝うとのことであった。大名行列は100名程度を予定しており、交通規制はかけずに行うとのことであった。道路渋滞も視野に入れ、駐車場の確保についても話題となったが、駐車場についてはすでに200台近く確保してあるとのことであった。

3 森のふれあい館

植樹等でやすらぎの森には行くが、なかなか入ったことのない森のふれあい館の視察を行った。館長より、森のふれあい館の現状と今年度の取り組みについて説明を受けた。入館者増に向け、様々な工夫がされ、昨年度の入館者数は大涌谷周辺での火山活動の影響を受ける前の平成26年度より上回ったとのことであった。遠足に来ていた小学生も実際に展示物を手に触れるなど、楽しそうに見学していた。議員からは施設の維持等に経費はかかるものの、今後も館の継続に向け、DMOと協力する等、他のアイデアも取り入れながら誘客に努めてもらいたいとの意見が出た。